

新緊急時対策所の概要

2011年11月28日

日本原燃株式会社

1. 建物概要

- ・ 構造形式：鉄骨造＋鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）
- ・ 建屋寸法：約31m×約27m（地上2階 一部3階、地下1階）
- ・ 建築面積：約970㎡
- ・ 延床面積：約2,700㎡
- ・ 着工：2009年8月
- ・ 完成：2011年7月
- ・ 運用開始：2011年12月1日

2. 主な特長

- 大地震の揺れを低減させ、建物の機能を維持できる免震構造を採用。
- 重要なサーバ機器の健全性確保を目的とした上下免震床の採用。
- 非常用発電設備（ガスタービン方式 1000kVA）と無停電電源装置を設置。
- 高性能フィルターや加圧空調システムにより、対策所の汚染空気侵入を防止。
- 十分な天井高と地下階への太陽光採光システムにより従事者の閉塞感を緩和。

サーバ機械室の床全体を免震装置を介して建物本体から切り離れた二重床構造とし、上下方向の揺れを低減。

3. 建物外観および対策本部



以上

免震装置の概要

